

第5回琉球大学 – 東京慈恵会医科大学共催シンポジウム

～卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発～地域における臨床研究の推進を目指して～

Symposium of the Jikei University School of Medicine and University of the Ryukyus
～Aiming to promote clinical research in the region～

地域の医療機関と大学が連携する目的のひとつは、大学以外の医療機関においての医師、医療従事者が診療上の疑問を自ら臨床研究により解決できる能力を有する医師、医療従事者を育成することにあります。本シンポジウムでは、慈恵医大が文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業（テーマB：リサーチマインドを持った総合診療医の養成）」、琉球大学が「課題解決型高度医療人材養成プログラム臨床研究マネジメント人材育成」に採択されたプロジェクトを紹介し、皆様のご意見をお聴きしたいと考えております。そして若手臨床研究者による具体的事例を発表してもらい、研究の立案から実施までどのような苦労があるのか等生の声を聴き問題を共有し今後の方向性を見いだせればと願っています。

【日時】 平成30年3月2日(金) 13:00-18:00

【会場】 カルチャーリゾートフェストーン(研修室) 沖縄県宜野湾市真志喜

【申込方法】 clinicalresearchryukyu@gmail.com



参加ご希望の方は①お名前②ご所属先③ご連絡先を明記のうえE-mailでお申込みください

【内 容】 司会：植田真一郎（琉球大学） 松島雅人（東京慈恵会医科大学）

◆琉球大学での取り組み

植田真一郎 琉球大学大学院医学研究科臨床研究教育管理学講座 教授
琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座 教授
琉球大学医学部附属病院臨床研究教育管理センター長
琉球大学医学部附属病院臨床研究支援センター長

◆東京慈恵会医科大学での取り組み

松島雅人 東京慈恵会医科大学臨床疫学研究部・部長 教授
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科・地域医療プライマリケア医学 教授

◆リサーチカンファレンス+シンポジウム

-具体的研究事例の紹介-

両大学の教育プログラム参加者である若手研究者の体験談(裏面に昨年度の内容記載)

主催：琉球大学
文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム 臨床研究マネジメント人材育成

共催：東京慈恵会医科大学
文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業 卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発

事務局：琉球大学大学院医学研究科臨床研究教育管理学講座/琉球大学医学部臨床研究教育管理センター
TEL：098-895-1508/1509 FAX：098-895-1510 担当：齋藤・大城

※前回のプログラムです

琉球大学-東京慈恵会医科大学臨床研究人材育成シンポジウム プログラム

日時：平成28年3月4日（金）13：00-17：40 会場：沖縄都ホテル（虹雲の間）

12：30-13：00	受付
13：00-13：10	来賓のご挨拶 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 院長 我那覇 仁
13：10-13：40	琉球大学での取り組み 植田真一郎（琉球大学）
13：40-14：10	東京慈恵会医科大学での取り組み 松島雅人（東京慈恵会医科大学）
14：10-14：20	～休憩～
14：20-15：35	リサーチカンファレンス+シンポジウム 具体的研究事例の紹介(発表15分+質疑コメント10分) 演者① <医師> (琉球大学大学院医学研究科 臨床研究教育管理学講座/沖縄県内 医療機関) 演者② <医師> (東京慈恵会医科大学/東京都内診療所) 演者③ <医師> (琉球大学 臨床研究インテンシブフェローシップ/沖縄県立中部病院 救急科)
15：45-17：00	～休憩～ 演者④ <医師> (東京慈恵会医科大学/東京都内診療所) 演者⑤ <研究補助> (琉球大学 臨床研究インテンシブフェローシップ/沖縄県内 内科クリニック) 演者⑥ <医師> (東京慈恵会医科大学/東京都内診療所)
17：10-17：35	～休憩～ 演者⑦ <学生> (琉球大学 臨床研究インテンシブフェローシップ/琉球大学医学部 医学科5年)
17：35-17：40	閉会式 挨拶 植田 真一郎